

「三井ゴールデン・クラブ賞」4年連続受賞コンプレ

# 菊池涼介

# 丸佳浩

## 「カープを支える黄金の守備」

37年ぶりのリーグ通稱を成し遂げた広島東洋カープ。若き赤い軍団の強さは打力だけでなく守備力にもある。三井ゴールデン・クラブ賞・常連の2人が守備の面からカープの新黄金時代を照らした。

日比野善三・文 杉山シゲキ  
Text by Kiyoko Hirano Photograph by Hideo Sogayama

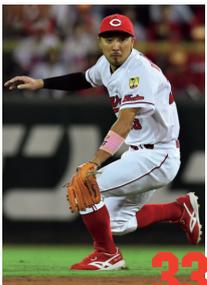


Yoshihiro Maru

丸 たしかに。譲り合ってポテンヒットに合ったというのは、もう記憶がないな。  
菊池 そういふところは内野は大変だねえ(笑)。  
丸 グラブにはこだわりがありませんか。  
菊池 最初に手を入れた瞬間の感覚で、「これ!」って決めます。あとは絶対に磨かない。中学生にはお勧めできませんけど、重くなると、ベタベタするのがイヤなので、丸 僕ら逆に、多少重たさがないとイヤ。  
丸 軽さって自分のグラブがどこにあるかが感じにくい。頭より後ろに出たりした時に、重さがあったほうがグラブの位置を感じ取れるんです。三井ゴールデン・クラブ賞をもらっている4年間はずっと同じ、一つのグラブを使っていますね。  
菊池 僕は1年に1個 使い進まず決めている。だから保護日もないし、予備もない。何かあったのために、歴代のグラブは置いてあるから。  
丸 あたためてお聞きします。お2人にとって、三井ゴールデン・クラブ賞とは。  
菊池 ドラフトで指名された時に「ゴールデン・クラブ賞」と自分で書いたタスキを掛けたんです。昔から憧れがありました。初めは賞をもらってからは、「来年もまた獲りたい」と思い続けてきた。10回でも20回でも欲しい賞ですね。  
丸 数字で評価される。  
菊池 タイムと違っていて、周りの人からの評価がいかに大事かというところが、非常に光栄な賞だと思います。受賞するたびに責任感が芽生えますね。僕も何回も獲りたいなと思っ

カープのリーグ連覇は、攻撃力だけでなく守備力の高さも大きな要因だったのではないかと思います。特にセンターラインを守るお2人は揃って13年から三井ゴールデン・クラブ賞を受賞し続けていますね。菊池 ありがとうございませぬ。初めは賞をいただいた時は、「俺でいいのかな」と思っていましたけど(笑)。  
丸 エラーの数もまた減ったよね。  
菊池 18個かな。そういう意味では去年(4個)と去年(5個)はよかった。  
丸 広い守備範囲が素晴らしい。いまはそういうイメージですか。  
丸 14年には535補教というプロ野球記録をつくりましたが、今は407。バッテリーも菊池選手が守っている。二塁方向に打たないようにしてるんじゃないですか? 菊池 最近、ちょっと打球が少ない気はしますね。でもピッチャーと関係してくる。マエケン(前田健太)さんと黒田(博樹)さんは打たせているタイプだったの。丸 後ろから見ていてキスがすごいのは、二塁手ながら肩が強いこと。仮に打球に追いつけたとしても、二塁でアウトにするのがなかなか難しいはずなのに、キスは捕ってから素早く、強く送球できる。  
菊池 捕らずえすれば投げられると僕は思っている。捕りたも勝ち、というイメージですね。でも、まだまだ突き詰められるところは絶対あると思う。ま。

いま三井ゴールデン・クラブ賞の常連となった丸選手ですが、もともと守備は得意ではありませぬ、というよね。  
丸 本当に自分がそういう賞ももらえるのかなって想像もできませんでした。慣れというのがいかに大きないきなりではないですか。昔は、練習ではできる動きが試合の中で出なかつたんですけど、二軍でも、一軍に上がってからも試合にたくさん出させてもら



Ryosuke Kikuchi

丸 守備、野球の中でいちばん好きですよ。練習した方がいいから。パッチイと違っていて、守備は好きになりましなかつたか?  
丸 守備、野球の中でいちばん好きですよ。練習した方がいいから。パッチイと違っていて、守備は好きになりましなかつたか?  
丸 守備、野球の中でいちばん好きですよ。練習した方がいいから。パッチイと違っていて、守備は好きになりましなかつたか?  
丸 守備、野球の中でいちばん好きですよ。練習した方がいいから。パッチイと違っていて、守備は好きになりましなかつたか?

丸 たしかに。譲り合ってポテンヒットに合ったというのは、もう記憶がないな。  
菊池 そういふところは内野は大変だねえ(笑)。  
丸 グラブにはこだわりがありませんか。  
菊池 最初に手を入れた瞬間の感覚で、「これ!」って決めます。あとは絶対に磨かない。中学生にはお勧めできませんけど、重くなると、ベタベタするのがイヤなので、丸 僕ら逆に、多少重たさがないとイヤ。  
丸 軽さって自分のグラブがどこにあるかが感じにくい。頭より後ろに出たりした時に、重さがあったほうがグラブの位置を感じ取れるんです。三井ゴールデン・クラブ賞をもらっている4年間はずっと同じ、一つのグラブを使っていますね。  
菊池 僕は1年に1個 使い進まず決めている。だから保護日もないし、予備もない。何かあったのために、歴代のグラブは置いてあるから。  
丸 あたためてお聞きします。お2人にとって、三井ゴールデン・クラブ賞とは。  
菊池 ドラフトで指名された時に「ゴールデン・クラブ賞」と自分で書いたタスキを掛けたんです。昔から憧れがありました。初めは賞をもらってからは、「来年もまた獲りたい」と思い続けてきた。10回でも20回でも欲しい賞ですね。  
丸 数字で評価される。  
菊池 タイムと違っていて、周りの人からの評価がいかに大事かというところが、非常に光栄な賞だと思います。受賞するたびに責任感が芽生えますね。僕も何回も獲りたいなと思っ

第46回 三井ゴールデン・クラブ賞  
三井ゴールデン・クラブ賞は三井広報委員会が提供、全国的約350名のプロ野球担当記者の投票によって、パナソニック「守備のベストアイン」を表彰している。1972年にダイヤモンドグラブ賞として制定後、86年より現名称となる。2017年度の変遷選手は11月9日に発表され、表彰式は11月30日に開催予定。